

図書館だより

2022. 6. 9

2022年度 第3号

朱雀高校定時制図書館 発行

■定時制図書館 Twitter

@suzakutei_lib

開館情報・展示、新着本
案内などをつぶやいています。



6月になりました。降ったり晴れたり、傘が手放せない季節です。

雨が降るとどうしても外出が億劫になりがちですが、自然にとっては“恵みの雨”。露に濡れて生き生きとした紫陽花などを見ると、宮沢賢治の『十力の金剛石』の一節を思い出します。「ザッ、ザ、ザ、ザザァザ、ザザァザ、ザザァ、ふらばふれふれ、ひでりあめ…」。物語の随所にみられる硬質な音の響きが印象的ですが、同時に“雨”や“露”という自然現象について、想像がふくらむ作品です。短篇なので読みやすいですよ。

第1回図書委員会のお知らせ

日時：6月9日(木)
HR終了後
場所：図書館

委員長選出のほか、今年の活動内容についての説明と、アンケートを書いてもらいます。
(※どうしても参加できない人は、明日10日(金)中に必ず図書館に来てください。)

6月の開館予定

【面談週間】開館時間変更あり

面談週間

6月13日(月)～6月17日(金)

6月13日(月)	通常開館
6月14日(火)	17時～20時30分
6月15日(水)	17時～20時30分
6月16日(木)	17時～20時30分
6月17日(金)	17時～20時30分

*通常開館：17時～21時30分

*面談待ちなどで利用されている場合は、20時30分以降も開けておきます。気軽に声をかけてください。



新しい雑誌が加わりました!

皆さんは普段雑誌を読みますか。あまり読まないという人もぜひ、手にとってぱらぱらとめくってみてください。

雑誌はデザインにこったものや絵・写真が多く、また内容も専門的な情報をまとめたものから、最新の娯楽情報等を取り扱っているものまで多岐にわたります。

今世間で何が話題なのか把握するのに、とても便利です。

朱雀高校所蔵の雑誌(10誌)

- | | |
|----------|---------|
| ・アニメージュ | ・音楽の友 |
| ・オレンジページ | ・ダ・ヴィンチ |
| ・装苑 | ・Newton |
| ・Number | ・SCREEN |
| ・AERA | ・芸術新潮 |

装苑

今月の特集

[装苑男子2022]

内容が凝っている

といえ、この雑誌。

ファッションに興味の

ある人や、アート好きにもおすすめです。



NEW

アニメージュ

(Animage)

放映中のアニメ

の情報を知りたい!

あの映画の見所は?

見ている、知っている内容であっても、改めて紙媒体で見ると新鮮かもしれません。



芸術新潮

今月の特集

[山田章博の世界]

人気シリーズ『十二

国記』。その世界観

はもちろん、作品に

彩を添える挿絵が大変魅力的です。



《新着図書より》

今月は、朱雀高校図書館で貸出上位にあがっているシリーズから紹介します。



『戦争は女の顔をしていない 3』

小梅けいと 作画/スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 原作 KADOKAWA

シリーズ3作目です。原作である『戦争は女の顔をしていない:岩波現代文庫』も所蔵していますが、凄惨な内容に文字だとページがなかなか進まないという人もいます。この本は、漫画家の小梅けいとさんが内容を画におこしたものです。読む人によって、様々な感想を抱かせると思います。もし未読なら1,2と併せて読んでみて欲しいシリーズです。

『わたしの幸せな結婚 2』

顎木あくみ 著 KADOKAWA



『京都寺町三条のホームズ 18』

望月麻衣 著 双葉社



今回紹介した3冊の本は、書店に行く目につきやすいところに置かれている本だと思います。紹介した本以外にも新しい本はどんどん入ってくる予定です。

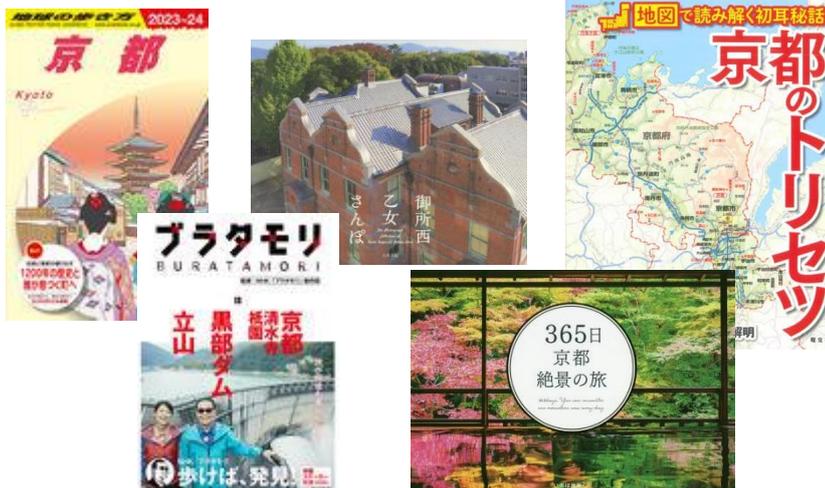
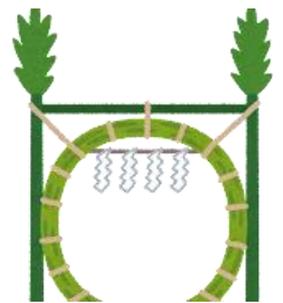
「少し興味はあっても、買うまでは…」
と思っている人はぜひ図書館で試し読みをしてみてください。読んでみると、「こんなストーリーを待っていた!」と、今の自分にぴったりの本と出会えるかもしれません。

現在図書館の中央付近に「京都の本」というコーナーが組まれています。

調べ学習のために使用するので、今は閲覧のみになりますが、新着図書も含め「京都に関する本」がこれから充実していく見込みです。

京都は有名な神社仏閣がたくさんありますが「いつでも行けるから」と思うと、意外と足を運ぶ機会がなくて、実は行ったことがないことも…。あるいはネットやフリーペーパーで済ませてしまって、地元のガイドブックを手にとることは、思っているよりも少ないのでは？

知っているようで知らない“京都”、調べてみると新鮮かもしれません。



6月30日は「夏越しの祓」。あちこちの神社で、上記のような茅の輪が立てられていますね。この茅の輪を作法通りにくぐれば半年間のけがれを祓い浄められるともいわれています。また、京都では和菓子の「水無月」を食べることも厄除けとされています。これらは、お盆に向けて身を浄める意味もあるそうです。

それとは別に、梅雨時は体調を崩す人が多いかもしれません。「厄除け」とまではいなくても暑い夏に向けて、自分なりにコンディションを整えていってください。